2024年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月6日

上場会社名	わかもと製薬株式会社		上場取引所　東
コード番号	4512　　ＵＲＬ　https：//www.wakamoto-pharm.co.jp		
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）五十嵐　新	
問合せ先責任者	（役職名）広報室長	（氏名）平井　友行	ＴＥＬ　03-3279-0371
四半期報告書提出予定日	2023年11月13日	配当支払開始予定日　－	

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2024年３月期第２四半期の業績（2023年４月１日～2023年９月30日）

（１）経営成績（累計）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年３月期第２四半期	3,618	△10.0	△328	－	△319	－	△222	－
2023年３月期第２四半期	4,019	0.3	△85	－	△27	－	△21	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年３月期第２四半期	△6.42	－
2023年３月期第２四半期	△0.62	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年３月期第２四半期	15,811	12,032	76.1	346.68
2023年３月期	15,711	11,906	75.8	343.06

（参考）自己資本　　2024年３月期第２四半期　　12,032百万円　　2023年３月期　　11,906百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年３月期	－	0.00	－	3.00	3.00
2024年３月期	－	0.00			
2024年３月期(予想)			－	－	－

（注）2024年３月期（予想）の配当は未定であります。

　　　直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2024年３月期の業績予想（2023年４月１日～2024年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年３月期２Ｑ	34,838,325株	2023年３月期	34,838,325株
②　期末自己株式数	2024年３月期２Ｑ	131,449株	2023年３月期	131,398株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2024年３月期２Ｑ	34,706,871株	2023年３月期２Ｑ	34,707,224株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間における日本経済は、コロナ禍からの経済正常化の動きにより、緩やかな回復基調となりました。その一方、原材料・エネルギー価格の高騰による物価の上昇や金融引き締め等による景気後退リスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社事業を取り巻く環境は、医薬事業においては、毎年の薬価改定による薬剤費の引き下げが継続的に推し進められ、引き続き、厳しい環境下にありますが、ヘルスケア事業では、国内消費が緩やかに持ち直していることに加え、インバウンド需要が回復しております。

当社医薬事業では、その活動として、医療機関や卸へこれまでの医療用医薬品の適正使用の推進と副作用関連の情報提供活動に加え、主力製品である眼科手術補助剤・眼科用副腎皮質ホルモン剤「マキュエイド眼注用40㎎」の供給停止に関する情報提供を引き続き推進してまいりました。また、卸との連携をより一層強化し、既存の後発医薬品、体外診断用医薬品などの売上伸長に努めてまいりました。前年度より新規参入した医療機器の分野においても、ターゲット施設を明確にしたプロモーション活動を推進してまいりました。

ヘルスケア事業においては、主力製品の「強力わかもと」を軸にインバウンド需要に対応した店頭での販促活動やＳＮＳを活用した広告宣伝による国内向けに認知拡大を図ってまいりました。また通販では４月に女性特有の悩みに寄り添うことを目的にフェムテックブランド「フェミフローラ」の発売を開始いたしました。

グローバル事業にあっては、台湾などアジア圏での「強力わかもと」の販売に加え、欧米、アジア圏におけるライセンスイン・アウトの活動、また中国越境ＥＣビジネスでの代理店との協働を促進した営業活動を行い、国内では乳酸菌原料を始めとし、医薬品原料の販売や受託製造を推進してまいりました。

その結果、当第２四半期累計期間の売上高は36億１千８百万円(前年同期比10.0％減)、営業損失３億２千８百万円（前年同期は営業損失８千５百万円）、経常損失３億１千９百万円(前年同期は経常損失２千７百万円)、四半期純損失２億２千２百万円(前年同期は四半期純損失２千１百万円）となりました。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では不採算品算定の特例措置により薬価が引き上がった「ヒアルロン酸Ｎａ点眼液0.1％「わかもと」」の売上が増加、アデノウイルス感染症拡大の影響によりアデノウイルスキット「キャピリアアデノアイＮｅｏ」の売上も増加いたしました。一方で、製品供給停止の影響により「マキュエイド眼注用40㎎」の売上が減少、薬価引き下げに加えて、花粉飛散状況の影響等を受け、抗アレルギー点眼薬「ゼペリン点眼液0.1％」及び「エピナスチン塩酸塩点眼液0.05％「わかもと」」の売上が減少いたしました。その結果、売上高は16億２千５百万円（前年同期比23.7％減）となりました。

ヘルスケア事業では、戦略的に広告宣伝費を抑制したことにより、通販事業における「アバンビーズ オーラルタブレット」の売上が減少いたしましたが、インバウンド需要を的確に取り込み、主力製品の「強力わかもと」の売上が増加いたしました。その結果、売上高は10億７千４百万円（前年同期比26.4％増）となりました。

グローバル事業では、輸出用の点眼剤の売上が増加いたしましたが、輸出用の「強力わかもと」及び国内における抗アレルギー点眼薬の受託製品の売上が減少いたしました。その結果、売上高は８億３千１百万円（前年同期比12.3％減）となりました。

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。オフィス賃貸料及び商業賃貸料はテナント入替の影響により減少いたしました。その結果、売上高は８千６百万円（前年同期比3.5％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期会計期間末における総資産は、158億１千１百万円となり前事業年度末比９千９百万円（0.6％）の増加となりました。流動資産は88億４千７百万円となり５億５百万円（5.4％）の減少、固定資産は69億６千３百万円となり６億５百万円（9.5％）の増加となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、現金及び預金が増加した一方、売掛金が減少したことが主たる要因であります。固定資産が増加いたしましたのは、投資有価証券が増加したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、37億７千９百万円となり前事業年度末比２千５百万円（0.7％）の減少となりました。流動負債は20億９百万円となり２億２千９百万円（10.3％）の減少、固定負債は17億６千９百万円となり２億４百万円（13.0％）の増加となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、買掛金が減少したことが主たる要因であります。一方、固定負債が増加いたしましたのは、繰延税金負債が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、120億３千２百万円となり前事業年度末比１億２千５百万円（1.1％）の増加となりました。その他有価証券評価差額金が増加したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の75.8％から76.1％となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が製造販売する製品「マキュエイド眼注用40㎎」において、出荷判定試験で不適合となる結果が認められたため、2023年４月末より当該製品の供給を停止しております。現在、出荷再開に向けて尽力しておりますが、現時点で具体的な出荷再開時期は未定であります。本件について現時点で影響額の正確な把握が困難であることから通期の業績予想につきましては「未定」としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年３月31日)	当第２四半期会計期間 (2023年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,879,325	3,961,757
売掛金	3,196,694	2,460,522
商品及び製品	990,073	1,044,946
仕掛品	296,473	301,627
原材料及び貯蔵品	666,329	650,711
未収還付法人税等	-	4,630
その他	324,490	423,526
流動資産合計	9,353,387	8,847,723
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,942,043	7,916,607
減価償却累計額	△5,458,749	△5,502,195
建物（純額）	2,483,293	2,414,412
構築物	268,504	268,904
減価償却累計額	△250,492	△253,442
構築物（純額）	18,011	15,462
機械及び装置	8,348,009	8,417,440
減価償却累計額	△8,006,367	△8,042,042
機械及び装置（純額）	341,641	375,398
車両運搬具	37,843	37,843
減価償却累計額	△33,752	△34,745
車両運搬具（純額）	4,090	3,097
工具、器具及び備品	1,026,366	1,037,722
減価償却累計額	△945,562	△955,162
工具、器具及び備品（純額）	80,804	82,560
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	21,422	60,350
有形固定資産合計	3,032,210	3,034,227
無形固定資産		
ソフトウエア	139,238	137,324
ソフトウエア仮勘定	59,150	92,001
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	202,069	233,006
投資その他の資産		
投資有価証券	2,483,290	3,081,751
保険積立金	311,940	279,389
修繕積立金	81,158	95,052
その他	283,499	275,196
貸倒引当金	△36,003	△34,803
投資その他の資産合計	3,123,886	3,696,585
固定資産合計	6,358,165	6,963,820
資産合計	15,711,553	15,811,544

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年３月31日)	当第２四半期会計期間 (2023年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	997,649	874,795
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	87,914	32,241
未払消費税等	77,728	－
賞与引当金	218,200	166,649
その他	757,423	835,557
流動負債合計	2,238,916	2,009,243
固定負債		
退職給付引当金	1,052,873	1,022,840
長期預り金	172,386	164,801
繰延税金負債	340,177	582,334
その他	529	－
固定負債合計	1,565,968	1,769,975
負債合計	3,804,884	3,779,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,828	2,675,826
利益剰余金	4,706,464	4,379,581
自己株式	△36,350	△36,359
株主資本合計	10,741,831	10,414,935
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,164,838	1,617,389
評価・換算差額等合計	1,164,838	1,617,389
純資産合計	11,906,669	12,032,325
負債純資産合計	15,711,553	15,811,544

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年９月30日）
売上高	4,019,650	3,618,388
売上原価	2,152,228	2,019,241
売上総利益	1,867,421	1,599,146
販売費及び一般管理費	1,953,366	1,927,525
営業損失（△）	△85,944	△328,378
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	24,968	30,064
保険返戻金	37,630	－
その他	8,314	7,623
営業外収益合計	70,926	37,703
営業外費用		
支払利息	292	239
固定資産除却損	105	8,605
寄付金	10,834	9,819
為替差損	1,630	－
保険解約損	－	10,001
その他	65	499
営業外費用合計	12,927	29,164
経常損失（△）	△27,945	△319,840
特別利益		
投資有価証券売却益	－	175,097
特別利益合計	－	175,097
特別損失		
固定資産除却損	－	5,428
棚卸資産廃棄損	－	19,717
特別損失合計	－	25,146
税引前四半期純損失（△）	△27,945	△169,888
法人税、住民税及び事業税	12,805	9,180
法人税等調整額	△19,230	43,694
法人税等合計	△6,424	52,874
四半期純損失（△）	△21,520	△222,762

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△27,945	△169,888
減価償却費	227,930	199,395
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△700	△1,200
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△21,412	△30,033
賞与引当金の増減額（△は減少）	53,173	△64,250
受取利息及び受取配当金	△24,981	△30,079
保険返戻金	△37,630	－
支払利息	292	239
保険解約損益（△は益）	－	10,001
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△175,097
固定資産除却損	105	14,033
棚卸資産廃棄損	－	19,717
売上債権の増減額（△は増加）	220,195	736,172
棚卸資産の増減額（△は増加）	110,162	△44,409
仕入債務の増減額（△は減少）	△359,148	△146,181
未収消費税等の増減額（△は増加）	－	△14,470
未払消費税等の増減額（△は減少）	15,326	△77,728
預り敷金及び保証金の増減額（△は減少）	△20	△7,585
その他	93,014	△85,014
小計	248,363	133,619
利息及び配当金の受取額	24,981	30,079
利息の支払額	△292	△239
法人税等の還付額	3,305	－
法人税等の支払額	△22,066	△54,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	254,291	108,673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,470	△85,467
無形固定資産の取得による支出	△9,309	△61,837
投資有価証券の取得による支出	△2,133	△2,183
投資有価証券の売却による収入	－	229,834
保険積立金の積立による支出	△10,968	△9,596
保険積立金の解約による収入	203,660	32,162
投資その他の資産の増減額（△は増加）	11,870	△24,845
投資活動によるキャッシュ・フロー	149,649	78,066
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	－	11
自己株式の取得による支出	△22	△9
配当金の支払額	△479	△103,779
リース債務の返済による支出	△529	△529
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,031	△104,307
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	402,909	82,432
現金及び現金同等物の期首残高	3,231,889	3,879,325
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,634,798	3,961,757

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前第２四半期累計期間（自2022年４月１日　至2022年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計	調整額	四半期損益計算書計上額（注）
	医薬事業	ヘルスケア事業	グローバル事業	不動産賃貸業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	2,131,274	850,022	949,017	89,335	4,019,650	4,019,650	－	4,019,650
計	2,131,274	850,022	949,017	89,335	4,019,650	4,019,650	－	4,019,650
セグメント利益又は損失（△）	△205,013	36,972	44,908	37,188	△85,944	△85,944	－	△85,944

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

Ⅱ　当第２四半期累計期間（自2023年４月１日　至2023年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計	調整額	四半期損益計算書計上額（注）
	医薬事業	ヘルスケア事業	グローバル事業	不動産賃貸業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	1,625,652	1,074,671	831,909	86,155	3,618,388	3,618,388	－	3,618,388
計	1,625,652	1,074,671	831,909	86,155	3,618,388	3,618,388	－	3,618,388
セグメント利益又は損失（△）	△475,494	95,630	23,396	28,088	△328,378	△328,378	－	△328,378

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期損益計算書の営業損失（△）と一致しております。